

研修事例

後継者育成

支援先

笠間焼産地

笠間焼後継者育成研修

【内 容】

本研修は、県内工芸陶磁器業界の後継者の確保・技術水準の向上を図る目的で実施しています。

表 1 平成26年度 研修コースについて

課 程		人 数	期 間	内 容
成形	基礎コース	5名	2年制	ろくろ成形を中心とした基礎技術の研修
	実践コース	2名	1年制	商品企画，開発を中心に学ぶ研修
釉薬	基礎コース	3名	3ヵ月制	釉薬原料・ゼーゲル計算等の釉薬基礎を学ぶ研修
	実践コース	3名 (基礎コース修了者)	9ヵ月制	釉薬開発手法を学ぶ研修

今年度は、延べ 10 名が修了予定です。現在まで累計 795 名が修了しています。笠間市周辺で工芸陶磁器業を営む人たちの約 6 割が研修修了者で、地場産業の後継者育成に貢献しています。(当所職員による講座・指導 図 1~4)



図 1 ロクろ成形指導

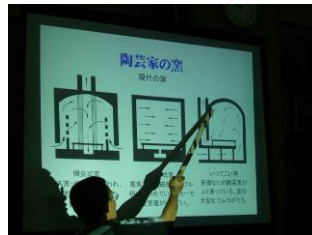


図 2 陶磁器概論



図 3 釉薬調合



図 4 成形課題 (徳利)



図 5 タタラ造形



図 6 手ひねり造形



図 7 象嵌技法

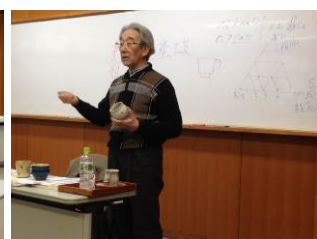


図 8 特別講座 (陶磁器デザイン)

本研修を強化する目的で全国区レベルの講師を招へいし、現代陶芸に必要な知識を身につける特別講座 (座学)，ワークショップ (参加型講座)，地元伝統工芸士による実習指導などの講座を開催しました (図 5~8)。特別講座とワークショップでは製陶従事者の参加もあり (計 8 回開催，219 名参加)，産地従事者の技能向上にも貢献いたしました。

基礎となった事業

平成 26 年度 人材育成事業

現在の担当部門

工芸技術部門	部 門 長	尾形 尚子	TEL:0296-72-0316
	主任研究員	常世田 茂	
	主任研究員	久野 亘央	
	嘱 託	佐藤 剛	
材料技術部門	主 任	吉田 博和	